

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		食の安全と消費者の信頼の確保		評価方式	実績	番号	①
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度概算要求額	
予算 の 状 況	当 初 予 算 （ 千 円 ） <small>復興庁一括計上分は、外数として（）内に記載</small>		21, 975, 167	21, 924, 899	21, 034, 709	20, 754, 696	
			<0>	<0>	<0>	<0>	
					(140, 405)	(374, 166)	
					(<0>)	(<0>)	
	補 正 予 算 （ 千 円 ）		16, 348, 072	520, 616			
			<0>	<0>			
	繰 越 し 等 （ 千 円 ）		40, 837, 484	220, 063			
			<0>	<0>			
	計（千円）		79, 160, 723	22, 665, 578			
			<0>	<0>			
執行額（千円）	70, 225, 206	20, 346, 343					
	<0>	<0>					
政策評価結果の概算要求 への反映状況		別添「平成23年度実施政策の評価書」中、「評価結果の政策への反映状況」欄を参照					

政策評価調書（個別票2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名	食の安全と消費者の信頼の確保					番号	①	(千円)	
	予 算 科 目					予算額		評価結果等の反映による見直し額合計	
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	24年度 当初予算額	25年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	●	1	一般	農林水産本省	食の安全・消費者の信頼確保対策費	食の安全と消費者の信頼確保対策に必要な経費	10,881,546	9,882,352	△ 1,221,587
	●	2	東日本大震災復興特別	農林水産本省	食の安全・消費者の信頼確保対策費	食の安全と消費者の信頼確保対策に必要な経費	543,649	413,813	△ 109,836
	●	3	一般	農林水産本省検査指導機関	農林水産本省検査指導所	食の安全と消費者の信頼確保対策に必要な経費	2,485,006	3,847,895	
	●	4	東日本大震災復興特別	復興庁	農林水産業復興政策費	食の安全と消費者の信頼確保対策に必要な経費	(140,405)	(374,166)	
	小計						13,910,201 (140,405)	14,144,060 (374,166)	△ 1,331,423
対応表において◆となっているもの	◆	1	一般	農林水産本省	独立行政法人農林水産消費安全技術センター運営費	独立行政法人農林水産消費安全技術センター運営費交付金に必要な経費	6,860,623	6,482,961	△ 77,892
	◆	2			独立行政法人農林水産消費安全技術センター施設整備費	独立行政法人農林水産消費安全技術センター施設整備に必要な経費	263,885	127,675	△ 6,316
	小計						7,124,508	6,610,636	△ 84,208
合計							21,034,709 (140,405)	20,754,696 (374,166)	△ 1,415,631
復興庁一括計上分は、外数として（）内に記載									

政策評価調書（個別票3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	食の安全と消費者の信頼の確保					番号	①	(千円)
事務事業名	整理番号		予算額			評価結果等の反映による見直し額(削減額)	評価結果等の概算要求への反映内容	
			24年度当初予算額	25年度概算要求額	増減			
動物用医薬品・飼料対策事業	●	1	67,126	114,636	47,510	△ 2,860	<ul style="list-style-type: none"> ・執行額と予算額の乖離の改善については、動物用医薬品安全等対策事業の事業内容を精査の上、情報収集、国際会議開催に係る翻訳費等の見直しを行い予算に反映。 ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。 	
植物防疫事業交付金	●	1	298,292	293,102	△ 5,190	△ 5,190	<ul style="list-style-type: none"> ・発生予察情報作成に係る調査方法の効率化に努めるとともに消耗品費の購入及び旅費のコストの削減を行うことにより縮減。 	
トレーサビリティ対策事業	●	1	294,637	302,688	8,051	△ 42,663	<ul style="list-style-type: none"> ・と畜場での肉片のサンプル採取については、事業の特殊性につき、委託先の選定に当たって随意契約とすることとした。 ・執行額と予算額の乖離の改善を図るため、近年の予算執行実績に基づき積算単価や員数の見直しを行うことにより予算を縮減。 	
水産防疫対策事業	●	1	96,824	86,120	△ 10,704	△ 10,704	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。 ・研修の実施にあたっては、参加者数の増加を図るため、内容の見直し、研修日程の調整により効率化を進め、コストの削減を図り予算へ反映。 	
消費・安全対策交付金	●	1	2,606,044	1,853,881	△ 752,163	△ 810,743	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。 ・農作物の病害虫の発生予防及びまん延防止等の事業量の規模見直しによる縮減。 	
家畜衛生対策事業	●	1	2,121,977	1,861,238	△ 260,739	△ 260,739	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。 ・オーエスキー病対策について、事業内容の見直しにより、予算を組み替え、事業を活性化。 ・農場飼養衛生管理の事業等について執行状況等を勘案しコストの削減を実施。 	

食の生産資材安全確保対策事業	●	1	617,840	622,872	5,032	△ 34,594	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の予算執行実績を踏まえ、分析に係る人件費、印刷費等についてコストの削減を図り予算へ反映。 ・執行額と予算額の乖離の改善については、24年度事業において、既に複数者の応札や過去の類似事業を踏まえた予定価格の設定を行っている。 ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。
有害化学物質・微生物リスク管理基礎調査事業	●	1	276,563	283,983	7,420	△ 31,891	<ul style="list-style-type: none"> ・予備・緊急調査費の分析点数等を見直して、コストの削減を行うことによる減額。 ・執行額と予算額の乖離については、計画的執行を図ることにより24年度において改善済み。 ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。
家畜伝染病早期診断体制整備事業委託費	●	1	53,399	48,059	△ 5,340	△ 5,340	<ul style="list-style-type: none"> ・23年度の予算執行実績を踏まえ、事業規模の見直しによりコストの削減を図り予算へ反映。 ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。
獣医療提供体制整備推進総合対策事業費	●	1	110,312	121,293	10,981	△ 7,000	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針、都道府県計画（産業動物獣医師の確保に関する具体的な数値目標等を策定）の実現に向けて、国、都道府県が連携し、社会的ニーズに応え得る産業動物獣医師の確保や獣医療提供体制の整備を引き続き実施。 ・近年の予算執行実績を踏まえ、人件費等のコストの削減を図り予算へ反映。
発生予察の手法検討事業委託費	●	1	65,358	57,737	△ 7,621	△ 7,621	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。 ・消耗品費等のコストの削減を行うことにより縮減。
感染症対策等の域内協力体制確立に向けた動物用医薬品開発・供給体制整備事業費	●	1	22,417	20,175	△ 2,242	△ 2,242	<ul style="list-style-type: none"> ・執行額と予算額の乖離の改善を図るため、平成24年度の予算執行において事業の進捗を随時確認するとともに、規制制度検討会の開催費の削減や病原体の解析試験数の見直しなどのコストの削減を図り予算に反映。 ・平成23年度の成果物は、今後ホームページに掲載することを通して国内に提供することとしており、成果物の有効活用がなされる見込み。
放射性物質による農畜産物等影響実態調査対策（復興関連事業）	●	2	543,649	413,813	△ 129,836	△ 109,836	<ul style="list-style-type: none"> ・執行額と予算額の乖離の改善を図るため、近年の予算執行実績を踏まえたサンプル試料分析費の単価の見直し等によるコストの削減を予算へ反映。 ・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。

独立行政法人農林水産消費安全技術センターに必要な経費	◆	1 2	7,124,508	6,610,636	△ 513,872	△ 84,208	<div>・平成24年度以降の予算執行については、支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上に引き続き努める。</div> <div>・単位当たりコストの削減については、毎年度の効率化係数による削減に加え、検査を集約実施することにより分析機器の負担軽減を図り、適時適切な保守点検を行うことにより耐用年数の経過した分析機器の更新時期の延長を行う等コストの削減を行うことにより縮減。</div>
合計						△ 1,415,631	